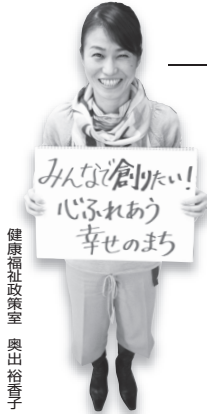


2010年(平成22年) 1月24日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1  
☎0595-63-7402 ㊚64-2560 ㊚info@city.nabari.mie.jp  
http://www.city.nabari.lg.jp  
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m\_index.htm  
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ



▶ 主な内容 P2…高額医療・高額介護療養費合算制度 P3…ひまわり、暮らしの情報 P4…新型インフルエンザ情報、消防白書

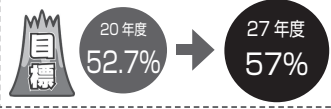


健康福祉政策室 奥出裕恵子

## 健康福祉ネットワーク

地域の見守り支援体制を構築し、心豊かな共助のネットワークを広げます。また、保健、医療、福祉の連携を強化し、市民の健康づくりや福祉ニーズに効果的に対応します。

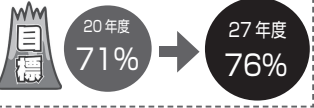
保健福祉サービスにかかる市の情報提供や相談体制を評価している市民の割合



## 地域づくり

住民主体の地域づくり活動が活発に展開されるよう、都市内分権を積極的に推進するとともに、地域づくりに対する支援制度の充実や人材育成などを進めます。

地域づくり活動に参加したことがある市民の割合



地域経営室 梶中良仁

## 学校教育

時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育などの充実を図るとともに、家庭、地域と連携しながら特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。

小・中学校の教育環境に満足している市民の割合

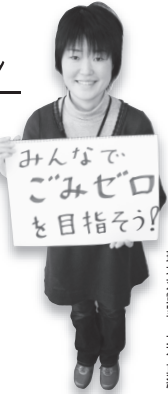


学校教育室 山村浩由

## ごみの減量化とリサイクル

資源循環型社会を構築するため、市民、事業者、行政が一体となって、ごみの減量化や資源化を積極的に進め、ごみゼロ社会を目指します。

一人一日あたりのごみ排出量

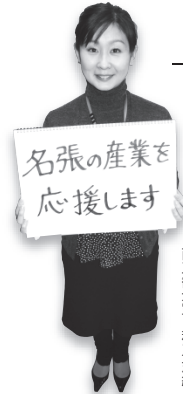


環境対策室 大石真紀

## 都市産業

環境、福祉、教育、情報など生活文化に関連する新たな産業の創出支援と育成により市内都市産業を活性化。あわせて、地域づくり活動と連携するコミュニティビジネスを支援します。

市内総生産 ※前々年度実績の数値となります

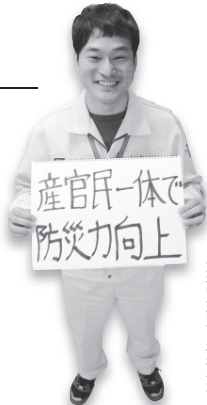


商工観光室 稲馬志織

## 防災

耐震性や耐火性の強化など、防災基盤の整備に努めるとともに、市民の防災意識の高揚を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。あわせて防災関連情報網の整備や情報提供、地域における自主防災体制の充実・強化に取り組みます。

防災訓練を実施した地区数(年間)



危機管理室 松村大介

◎「名張市総合計画 理想郷プラン」は市のホームページに掲載しています。



**知** 得 っ てる と  
す る 情 報

例えば、75歳以上  
年金収入のみの夫婦だと  
こうなります…

**制度導入前**

多くの医療を受ける夫の負担  
約30万円

**医療**  
高額療養費制度による  
自己負担限度額  
(月) 24,600円×12ヵ月=  
(年間) 約30万円



多くの介護サービスを受ける  
妻の負担 約30万円

**介護サービス**  
高額介護サービス費制度  
による自己負担限度額  
(月) 24,600円×12ヵ月=  
(年間) 約30万円



世帯負担 約60万円  
(医療+介護サービス)

**制度導入後**

夫の負担 約30万円  
(医療)

妻の負担 約30万円  
(介護サービス)

**医療・介護サービス**  
高額医療・高額介護  
合算療養費制度による  
自己負担限度額  
(年間) 31万円 **要申請**



世帯負担 31万円  
(医療+介護サービス)

なんと約29万円もお得!!  
(制度導入前の約60万円が、  
31万円まで負担が軽減)

**解説** 例えば、夫婦ともに75歳以上で年金のみ収入(市民税非課税)の2人世帯の場合、高額医療・高額介護合算療養費制度の自己負担限度額は31万円。1年間に夫の医療費負担が約30万円、妻の介護費負担が約30万円であった場合、世帯の負担額は約60万円に。しかし、高額医療・高額介護合算療養費制度の支給申請をすると、自己負担限度額を超えた分の約29万円の支給が受けられます。

**医療と介護の両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減  
高額医療・高額介護合算療養費制度**

わたしたちは、医療保険と介護保険によって、医療費や介護サービス費の一部を負担すれば、医療や介護サービスを受けられます。さらに、医療保険、介護保険それぞれについて、月単位で限度額を設けて自己負担を軽くする制度もあります。

しかし、長期間にわたって医療と介護サービスの

両方を受ける場合、家計の負担は軽くありません。「高額医療・高額介護合算療養費制度」は、そうした負担を軽減するために設けられました。

この制度により、医療費と介護サービス費を足して、自己負担限度額を超えた分を支給します。なお、支給を受けるには申請が必要となります。

**対象** 同じ世帯で医療と介護の両方のサービスを受けている人が対象

- ①毎年8月1日～翌年7月31日までの1年間で医療(注)と介護の両方の自己負担がある世帯
- ②医療と介護の自己負担額を足した金額が自己負担限度額を501円以上超える世帯

(注) 70歳未満の人の医療の自己負担額は、医療機関ごとに1ヵ月で21,000円以上の自己負担額のみが対象となります。

**自己負担限度額** 下表の金額が、医療と介護の負担を足した自己負担(平成20年8月～平成21年7月※に負担した分)の限度額となります。 ※( )内は、平成20年4月～平成21年7月

自己負担限度額	長寿(後期高齢者)医療制度 + 介護保険	被用者保険または国保+介護保険	
		70～74歳	70歳未満
現役並み所得者(上位所得者)	67万円(89万円)	67万円(89万円)	126万円(168万円)
一般	56万円(75万円)	56万円(75万円)	67万円(89万円)
低所得者	II	31万円(41万円)	31万円(41万円)
	I	19万円(25万円)	19万円(25万円)※注
			34万円(45万円)

※注…低所得者Iの所得区分に相当する世帯で、複数の人が介護サービスを利用する場合には、自己負担限度額は31万円となります。

現役並み所得者…被保険者証(高齢受給者証)の負担割合が「3割」の人  
低所得II…住民税非課税世帯の人  
低所得I…住民税非課税世帯のうち世帯員全員の所得が一定基準(年金収入80万円以下等)の人  
一般…上記以外の人

**支給額** 自己負担限度額を超えた金額を支給します。

上記表( )内の期間の限度額と比較して多いほうを支給します。ただし、超えた額が500円以下の場合には支給されません。また、医療保険と介護保険で、どちらかの負担額が0円の場合は、支給はありません。

**申請** 申請は、昨年の7月31日時点に加入していた医療保険者へ。

国保と長寿医療に加入していた人で、対象となる人には申請について通知します※。

※通知が届いてから申請してください。国保は、昨年12月に通知済み。長寿医療は、1月末ごろに通知予定

「高額医療・高額介護合算療養費制度」は、申請があつてはじめて、自己負担限度額を超える金額が支給されます。忘れずに申請してください。申請先は、平成21年7月31日(基準日)に加入していた医療保険者となります。

- ①基準日に長寿医療の被保険者…市役所1階保険年金室医療助成担当(③番D窓口)へ
- ②基準日に国民健康保険の被保険者…市役所1階保険年金室国民健康保険担当(③番C窓口)へ
- ③基準日に被用者保険(会社の健康保険・共済組合・協会健保など)の被保険者…ご加入の健康保険担当へ。申請には、市役所1階高齢・障害支援室(⑤番窓口)で介護保険自己負担額証明書の交付を受けていただく必要があります。詳しくは、各健康保険組合へお問い合わせください。

※基準となる日に、死亡、生活保護受給、海外転居していた場合は、その喪失日にご加入していた健康保険に申請いただくこととなります。

**申請に必要なもの**…▼印鑑 ▼口座番号が分かるもの ▼健康保険証 ※対象期間中(平成20年4月から平成21年7月)に他市町の医療・介護保険や被用者保険に加入していた人は、その保険者から「自己負担額証明書」の交付を受けて申請をしてください。

国保と長寿医療の加入者には、申請について通知しますが、次の場合は、通知が届かない場合がありますのでご注意ください。

- ☆対象期間(平成20年4月～平成21年7月)に…
- ・市町を越える転居をし、加入する保険が変わった人
- ・他の医療保険(制度)から移られた人
- ・医療、介護それぞれで複数の加入保険がある人
- ☆長寿医療制度に加入されている施設入所者で、住所地と介護保険の市町が違う人(介護保険住所地特例者)
- 以上の方は、自己負担限度額一覧表を参考にして、支給の対象となるかどうかご確認ください。



国民健康保険の加入者…保険年金室 国民健康保険担当 ☎ 63-7445

問い合わせ先 長寿(後期高齢者)医療制度の加入者…保険年金室 医療助成担当 ☎ 63-7105

その他の保険の加入者…ご加入の健康保険担当へ



「みんなの思いが通じた」

名張市では、「名張市子ども条例」で定められた子ども中心の会議「ばりっ子会議」を毎月開催しています。昨年7月の会議で、出席している小学生の兄妹からこんな話がありました。

「通学路にある住宅地の階段に手すりがないで、たいへん危ないです」「駅の階段には、手すりがありますが、おとな用の手すりです。子どもには高すぎます」「郵便局の前の歩道が、がたがた。友だちは、こけて膝をすりむきました。なんとか、コンクリートを平べったくしてほしいです」「それは、なんとかしなくてはいいかな。みんなで困っている場所を見に行こう。その話を聞いた会議のメンバーは、すぐに現場へ。」

子どもたちが、住宅地の階段を見てみると、偶然、杖をついたおじいさんが。階段について聞くと「危ないから、手すりがあればいいな」と話してくれました。駅では、子どもたちが手すりを持って、階段を上り下りしてみました。確かに、子どもたちには手すりの位置は高すぎるようです。歩道は、街路樹の根が出ていたり、ブロッコが欠けていたり、凸凹があったりして、とても危険な状態でした。



～人権尊重をくらしのなかに～  
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63・7909)へ

子どもたちは、現場から帰って話し合いました。

「手すりは高かった」「歩道でこけそうになった」「どうすればいいの?」「だれに言ったら、一番いいやるか?」「やっぱり市長とちがう?」「早く手すりつけてもらいたい、歩道も直してもらおうよう市長にお願いしよう!」

危ない場所の地図を作り、お願いの手紙も書きました。そして、昨年8月、会議のメンバーみんなで市長に会いました。

見を言わない子どもたちも、力いっぱい大きな声で訴えました。市長は子どもたちの声に耳を傾け、道路や階段を子どもも大人もみんなが安全に歩けるように直すことを約束しました。



みんなの思いが通じたのです! 互いを尊重しながらみんなのために真剣に取り組む子どもたちの力強さを感じました。



暮らしの情報

募集

「ヘルシークッキング教室」

参加者 健康支援室 ☎63-6970  
栄養バランスのとれた食事について学び、健康な食生活を送りましょう。  
日時 2月24日(日) 午前10時～午後1時  
場所 保健センター(朝日町)  
定員 16人 参加費 500円  
持ち物 エプロン・三角巾・手ぶき用タオル  
申込 2月8日(日) (必着) までに、往復はがきに「2月24日参加希望」と書き、住所・氏名・電話番号を記入し、保健センター(〒518-0721朝日町1361-4)へ ※申込多数の場合は抽選  
主催 名張市食生活改善推進協議会

「こころの健康づくり研修会」

参加者 伊賀保険福祉事務所地域保健課 ☎24-8076 ㉨24-8085  
日時 2月18日(日) 午後1時30分～3時30分  
場所 三重県伊賀庁舎(伊賀市四十九町)  
内容 講演会「健康づくりは、ほめ言葉+心のスマイル。が一番!」講師(右)幸ブランニング代表取締役 長野ゆき子さん  
参加費 無料  
定員 100人 ※先着順  
申込 2月12日(土)までに電話かファクスで氏名、電話番号を問い合わせ先へ

お知らせ

「がん患者とサポーターの集い」フォーラムを開催  
☎三重県がん相談支援センター ☎059-253-3550

県内のがん患者とその家族や、サポーター(支援者)が一堂に会し、がん患者とその家族がいきいきとした生活を送るために新しい出会いと情報の共有化を図ります。  
日時 2月28日(日) 午前11時30分～午後4時30分  
場所 アスト津(津市)  
定員 250人 参加費 無料  
内容 ▼講演「がんと共に生きる -自分であることを大切に-」講師 淀川キリスト教病院ホスピス主任看護課長 がん看護専門看護師 田村恵子さん ▼部別がん相談会 ▼おしゃべりサロン ▼患者会のご案内など  
申込 2月20日(日)までに、問い合わせ先へ ※がん相談の希望者は申込時に要予約

堤防除草で発生した草を堆肥として配布します

☎木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所 ☎21-2403  
配布開始日 2月18日(日)  
配布時間 午前9時～午後4時  
配布場所 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所(伊賀市小田町)  
配布数 ▼個人で使用の場合…1人30袋まで ▼公共で使用の場合…1人100袋まで  
※無くなり次第終了。休日は配布を行いません。予約は受け付けません。

家屋を取り壊したときは届け出を忘れずに  
☎課税室 ☎63-7437

家屋の全部または一部を取り壊した(滅失した)ときは「家屋滅失届出書」を、市役所1階課税室

へ提出してください(印鑑が必要です)。届け出がない場合は、平成22年度の固定資産税が引き続き課税されることがあります。新築・増改築や土地の現況が変わったときも、ご連絡ください。

提案公募型事業

松明調進行事を体感しませんか?

実施団体: 春を呼ぶ会(名張観光協会内) ☎63-9148  
東大寺のお水取りに使う松明を調進する750年以上続く伝統行事をご存知ですか。ヒノキの切り出しや松明の調製を体験していただけます。  
日時 2月11日(日) 午前8時～午後3時  
場所 極楽寺(赤目町一ノ井)  
※申込不要。直接極楽寺へ。動きやすい格好、軍手、長靴、防寒対策をしてお越しください。



名張市人権センター 市民文化講座

アイヌ文化との出会い

アイヌとシサムのワ

～MinaMinaの会の願い～  
アイヌの文化・伝統を学ぶ「MinaMinaの会」と、歌と踊りで楽しもう! 切り絵体験もあります(はさみをご持参ください)。\*「シサム」とは、アイヌ語で隣人のこと  
日時 2月20日(日) 午後1時30分～3時30分 \*午後1時～受付  
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)  
定員 50人 ※先着順。参加費 無料。申込不要

身も心もあったかに

～アイヌ料理を体験しよう～  
冬野菜で作る体が温まるオハウ(汁物)とシト(団子)なんていかがでしょう?  
日時 2月27日(日) 午前10時～午後2時 \*午前9時30分～受付  
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)  
定員 20人 ※先着順  
参加費 1,000円 \*材料費  
申込 電話やファクス(63-5326)などで問い合わせ先へ  
☎名張市人権センター ☎63-0018

赤目四十八滝キャンプ場 自然素材空間 ちよいまる 情報

- ☎赤目四十八滝キャンプ場 ☎63-9666
- 2月7日(日) 午前10時～ エコ書初めコンクール表彰式
- 2月11日(祝)～14日(日) 午前10時～午後6時 冬ソナ・バレンタインビザ作り体験 キムチ・チョコレート [25cm1枚 2600円・2枚目以降1300円] \*要予約
- 2月27日(土) 午後2時～2時30分 よし苗コンサート17th.

次号予告 「市民公益活動促進委員会」委員募集

子ども支援センターかがやきへ行こう!

開館時間 午前9時30分～午後5時  
休館日 日・月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは翌日休館)、年末年始  
▼はじめて広場(かがやきを利用したことがない人対象)…2月12日  
※午前10時30分～11時30分  
▼親子で遊ぼう サタパ広場+ゆりねによるミニコンサート…2月6日  
つくて遊ぼう「むくむくびっくり箱」…2月10日  
※いずれも午前10時45分～11時30分。参加無料  
☎ 子ども支援センターかがやき ☎ 67-0250

みんなでごみを減らそうよ!

家庭ごみ量(12月・市内収集分)  
燃やすごみ 913.5t (-75.0t)  
燃やさないごみ 57.9t (-5.6t)  
容器包装プラ 83.6t (-8.6t)  
( )は前年同月比。容器包装プラの量を併せて掲載しています。

リバーナホール催物

[ジャスコ新名張店3階]  
問 商工観光室 ☎63-7648

■日頃の活動で仕上げた油絵作品  
日時 2月5日(金)～7日(日)  
午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)  
主催 油絵を親しむ仲間

■名張市美術作家協会新春チャリティー展  
日時 2月11日(土)～14日(日) 午前10時～午後6時  
(初日は正午から最終日は5時まで)  
主催 名張市美術作家協会

■名張高校「美術部」作品展  
日時 2月18日(土)～21日(日) 午前10時～午後6時  
(最終日は4時まで) 主催 名張高校

■つつじが丘公民館サークル油彩画展  
日時 2月26日(土)～28日(日) 午前10時～午後5時  
(初日は正午から最終日は4時まで)  
主催 パレットの会

国津の杜の行事

問 はぐくみ工房あららぎ ☎62-6920

わらぞうり・布ぞうり作りに挑戦しましょう  
日時 2月5日(金) 午後1時30分～4時  
講師 森下孝さん 参加費 わらぞうり、布ぞうり各1,200円(材料を含む) 定員 各10人  
持ち物 汚れても良い服装、布ぞうりは、編んでいただく布は準備しますが、それ以外で混ぜて編んでみたい布があればお持ちください。  
申込期限 1月28日(日)

陶芸教室 5月人形を作しましょう!  
日時 2月9日(日) 午後1時30分～3時30分  
講師 中嶋泰子さん 参加費 2,200円  
定員 10人 持ち物 エプロンなど汚れても良い服装 申込期限 1月28日(日)

こんにゃく作り  
日時 2月12日(金)・13日(土) 午後1時～4時  
講師 布生なかよし会コンニャク部  
参加費 600円 定員 各日20人  
持ち物 エプロン、三角巾、ゴム手袋、持ち帰り用袋 申込期限 2月4日(日)

申込 はがきで国津の杜(郵便番号518-0504 神屋814-4)へ。ファクス(62-6921)でも受付。※当日消印有効。申込多数の場合は抽選。定員に満たない場合は中止

新型インフルエンザ情報

[1月18日現在] ☎健康支援室 ☎63-6970

65歳以上の高齢者に対する新型インフルエンザワクチン接種の受付が、1月12日頃から始まりました(医療機関への予約が必要)。また、一般の成人への接種も今後進められていくこととなりました。

しかし、1回に配布されるワクチン量が限られているため、すぐに接種できない場合があります。ワクチンは、医療機関に順次供給されますので、冷静に対応をお願いします。

対象者	受付開始	接種回数	医療機関へ提示する書類
優先接種対象者	平成21年11月16日～	基礎疾患を有する人	1回 優先接種対象者証明書
		妊婦	1回 母子健康手帳
		幼児(1歳)から就学前	2回 母子健康手帳または健康保険被保険者証
	平成21年12月21日～	小学校1～3年生	2回 母子健康手帳または健康保険被保険者証
		1歳未満の小児の保護者	1回 母子健康手帳、健康保険被保険者証または住民票
		小学校4年生から6年生	2回 母子健康手帳、健康保険被保険者証または住民票
優先接種対象者以外の人(一般の成人)	1月12日～	中学生、高校生に相当する年齢の人	1回 健康保険被保険者証、学生証または住民票
		高齢者(65歳以上の人)	1回 健康保険被保険者証、運転免許証または住民票
優先接種対象者以外の人(一般の成人)	未定	1回	なし



最新情報は市ホームページに掲載しています。左記QRコードを読み取ると、携帯版市ホームページの新型インフルエンザ情報へアクセスできます。

インフルエンザ相談窓口

◆伊賀保健所健康増進課 ☎24-8045  
◆三重県健康危機管理室 ☎059-224-2339  
◆健康支援室(保健センター) ☎63-6970  
受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分

平成21年 消防白書



名張市消防本部では、市内で発生した昨年1年間の火災発生や救急業務、救助活動の状況を取りまとめました。  
☎ 消防本部予防室 ☎63-1412

火災発生状況

建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合計
7件	1件	3件	7件	18件

出火原因のトップとなっています。続いて「放火」や「放火の疑い」による火災が合わせて3件発生しました。その他にも「たばこ」「こんろ」「ストーブ」など、暮らしに身近な原因で火災が発生しました。

火災による死者は1人、負傷者は5人。火災による年間の損害額は362万1,000円となりました。



救急・救助

平成21年中の救急出場件数は2,854件(前年比+96件)。1日あたり、平均7.8件救急出場したことになります。搬送人員は全体で2,745人(前年比+101人)。名張市民30人に1人を搬送したことになります。事故種別ごとの救急出場件数は、急病が1,809件と最も多く、次いで一般負傷の402件、交通事故の262件となっています。一方、平成21年中の救助出動は39件(前年比+10件)で、29人を救助しました。

救急出場状況

種別	急病	一般	交通	その他	合計
出場件数	1,809件	402件	262件	381件	2,854件
搬送人員	1,706人	392人	309人	338人	2,745人

※その他とは転院搬送、労働災害などです。

救助出動状況

種別	火災	水難事故	自然災害	交通事故	その他	合計
出動件数	0件	0件	0件	24件	15件	39件
救助人員	0人	0人	0人	21人	8人	29人

※その他とは機械による事故、自損行為などです。

ご協力ください! 救急車の適正利用

名張市では、4台の救急車を24時間体制で運用していますが、救急搬送人員は、この10年間で約650人も増えています。また、平成21年中の搬送人員2,745人のうち「軽症」は約54%となっています。緊急性の高い患者さんを少しでも早く病院へ搬送するために、自分で病院に行けるときなどに、「救急車で行けば優先して診てくれるだろう」「救急車のほうが早くて便利な」といった利用はおやめください。

2月の献血 ～ 冬期献血キャンペーン

日時 2月15日(日) 午前10時から午後零時30分、午後1時30分～4時  
場所 リバーナ(元町) ジャスコ新名張店